

姉さん人形を使ったモビールの作り方

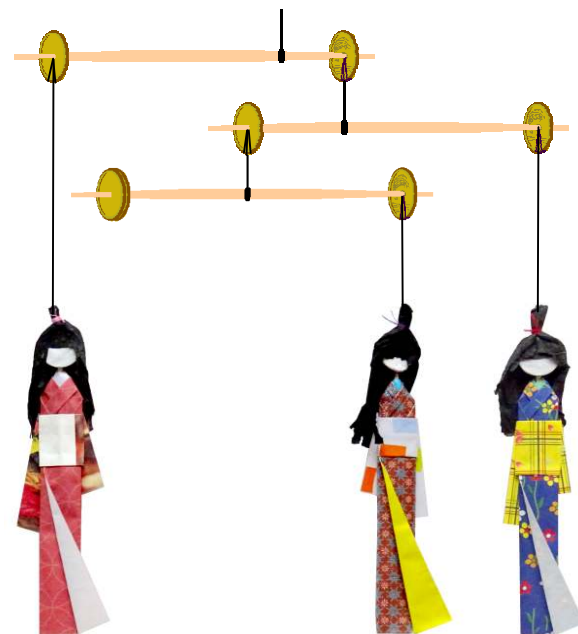
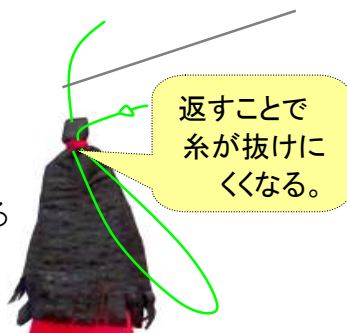
姉さん人形を何体か作り、使い簡単なモビールを作りましょう。ここでは、人形が3体のもっとも簡単な作り方で説明します。空気の流れてゆっくりと動く人形は、離れたたり近づいたり、見ていても心が和みます。

① 最下段のモビール製作の準備品

- ア. 両端が細くなった箸(祝箸)
- イ. 5円玉3個(ウエイト 2 個、糸固定用として 1 個)
- ウ. 一段目の姉さん人形 1 体、糸(約 50cm)
- エ. 片方が固定輪となっている細い糸(支点用)

② 人形への糸の取り付け

モビール用として人形の髪に約 50cmの糸をつける。
針穴が止め玉を通すことがあるので、返し縫いで留める。



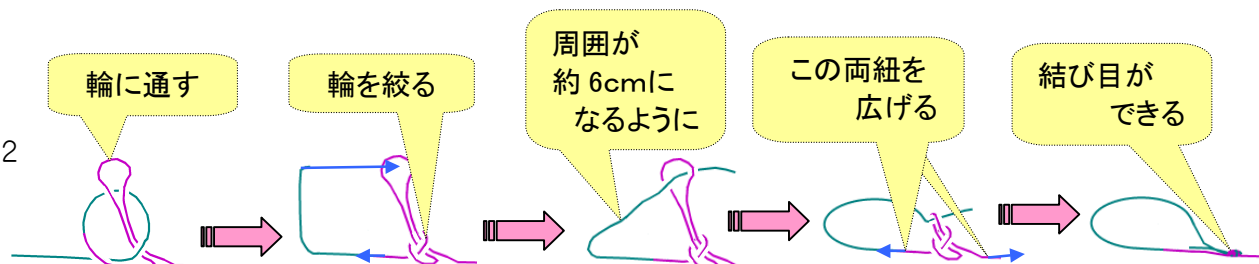
③ 固定輪を持つ糸の作り方

モビールの支点のため、糸の端に6cm程度の固定輪が必要である。輪自身は固定であるが、さらに④のように使えば、締めたり緩めたりできる結びが作れる。ここでは二通りの固定輪の結び方を紹介します。

固定輪の結び方 その1



その2

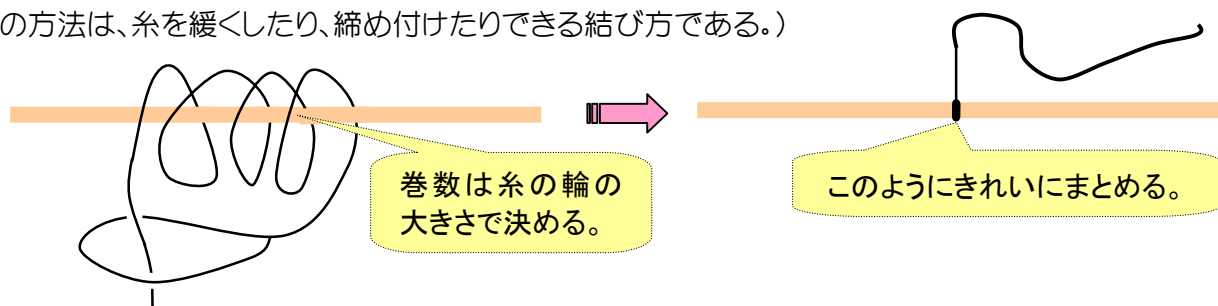


このやり方で「もやい結び」ができる

④ 最下段の支点用の糸の取り付け

箸のほぼ中央で、③で作った紐(支点の紐)をゆるく約3周巻きつけ、最後に糸の先端を輪に通し、箸を回しながら軽く締めていく。ここをゆるめると、糸を左右に移動するのが可能となる。

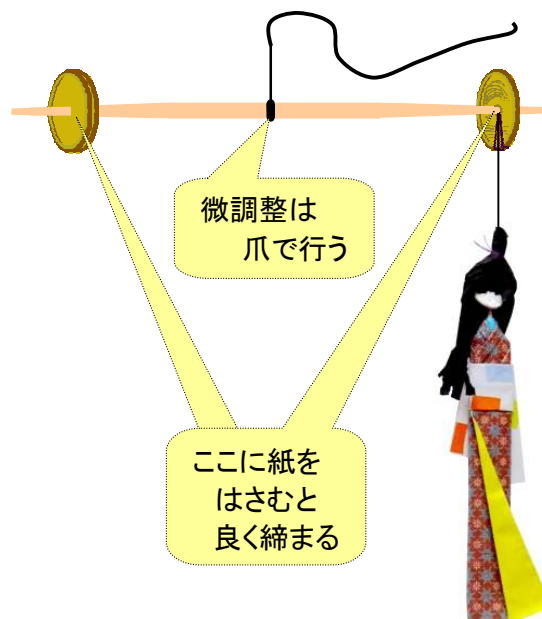
(この方法は、糸を緩くしたり、締め付けたりできる結び方である。)



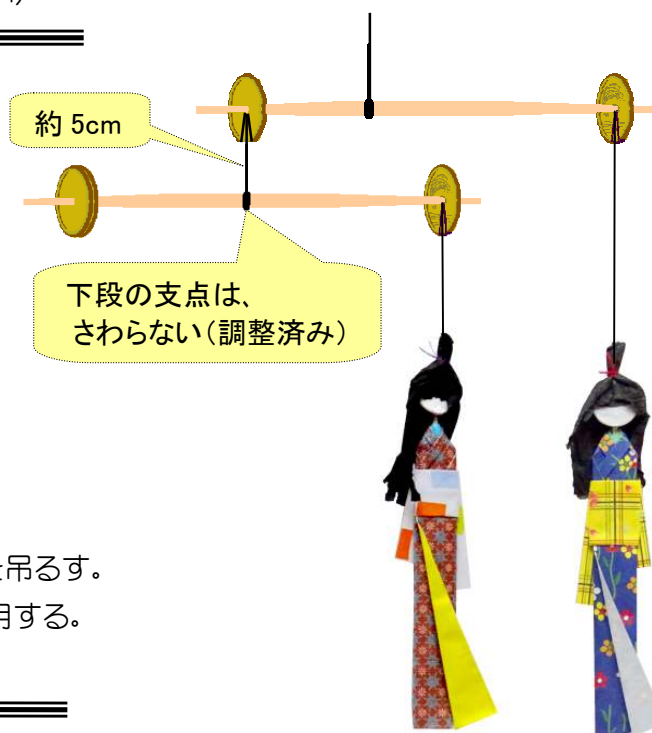
- ⑤ 最下段へのおもりの取り付け
2個の5円玉の穴に細い紙を通し、
そのまま最下段の一方の端に動かなくなるまで
差し込む。(紙はクッションとなり固定しやすくなる)

- ⑥ 最下段への姉さん人形の取り付け
人形の糸の長さを決め(5~10cm)、残った糸は
5円玉の穴に3~4回通し、その5円玉を、もう一方の
端に差し込む。(5円玉は穴で糸を固定するために使用)

- ⑦ 最下段のバランス調整
バランスが取れるように支点の糸の位置決めを行う。
最後の微かな位置移動は、爪で行う。
ここでは、支点のわずかな移動で、バランスが大きく
崩れる感覚を会得しておく。(頭で考えるより難しい)



- ⑧ 2段のモビール製作の準備品
ア. 両端が細くなった箸(祝箸)
イ. 5円玉2個(箸の両端の糸固定用として使う)
ウ. 2段目の姉さん人形1体、糸(約50cm)
エ. 片方が固定輪となっている細い糸
オ. 最下段のモビール(⑦で仕上げたもの)



- ⑨ 2段モビールの製作
④~⑦と同じ要領で、④糸で支点を作り、次いで、
⑤反対の端におもりの代わりに⑦で作った最下段の
モビール全体を吊り、それから⑥片端に姉さん人形を吊るす。
糸の長さは図を見て調整、固定は5円玉の穴を利用する。
最後に⑦均衡点を捜せば、2段のモビールが完成。

- ⑩ 3段のモビール製作の準備品
ア. 両端が細くなった箸(祝箸)
イ. 5円玉2個(箸の両端の糸固定用として使う)
ウ. 3段目の姉さん人形1体、糸(約50cm)
エ. 片方が固定輪となっている細い糸
オ. 2段モビール(⑨で仕上げたもの)

- ⑪ 3段モビールの製作
⑨と全く同じ要領で製作する。このように一見複雑に
見えるモビールも、下から製作していくことで、簡単に
製作できることがわかる。多段であっても同じです。
もしも、これを上から作るとすれば、下を付け加える度に
すべての支点調整が必要となり、非常に厄介な作業となる。

